

礼拝プログラム ※主の導きにより変わる事があります

- 黙祷 …………… 御言葉に耳を傾け、心を主に向けましょう
- *賛美 …………… 332番
- *交読文 …………… 32番
- *使徒信条 …………… 会衆一同
- *頌栄 …………… 23番
- 礼拝のための祈り ……… 申振淑 執事
- 賛美 …………… 330番
- メッセージ …………… 口を塵につけよ(哀歌3章22-39節)
- 御言葉を適用する祈り … 会衆一同
- 賛美 …………… 337番
- 献金感謝の祈り ……… パスター
- 報告と歓迎 …………… 来週の収穫感謝祭にて中祖父が洗礼を受けられます。
- *主の祈り …………… 会衆一同
- *祝祷 …………… パスター

祈禱課題

- ・この教会が神の御声を聞いて御心を行う教会となるように
- ・病、貧しさ、悲しみの内にある兄弟姉妹のために
- ・兄弟姉妹達がキリストの香りを豊かに世に放ち、仕事、事業が祝福されるように
- ・主に忠実で御霊に満ちた奉仕者が70名与えられる ように
- ・終末の災いに実際に直面している兄弟姉妹の守りのために

祝福の御言葉 (空欄に今、障害となっている事を入れて祈りましょう)

今、私に障害となっている _____ をご覧ください。この _____ は、イエスを主とした私に、侵入する事を、あなたがお許しにならなかつた事です。ご覧ください。 _____ が私にしようとしていることを。 _____ は、あなたが私に得させてくださった地から、私を追い払おうとして来ました。私たちの神よ。あなたはそれを裁いてくださらないのですか。私に立ち向かって来たこの _____ に当たる力は、私にはありません。私としては、どうすればよいかわかりません。ただ、あなたに私の目を注ぐのみです。」(2歴代20:10-12)

あなたが私の代わりに _____ と戦って下さる事を、私の主・イエスキリストの名

哀歌は、エルサレムがバビロンによって滅ぼされたのを目撃したエレミヤが歌った、聖書の中で最も悲しみに溢れている歌で、陥落後のエルサレムの、とても悲惨な状況が記されている。人は、悲しみに共感する。乳飲み子が衰え果て、母の懷で息絶えようとしている様には、心を動かされる。しかし、どうしたらそういう結果となってしまったのか、という所を、おろそかにしてはならない。「エルサレムは罪に罪を重ね笑いものになった。…衣の裾には汚れが付いている。彼女は行く末を心に留めなかつたのだ。」(哀歌 1:8,9)

エルサレムはこうなる事を、十分避けられた。それも、どうしたらこうなるのかは、既に何世紀も前からモーセによって示されていた(申命記 4:25-31)し、主は、早くからしきりに使者を遣わし、民が立ち返るよう呼びかけてきたが、民は彼らを笑いものにし、侮った(2歴代 36:15,16)ため、そのようになってしまったのだ。

私達は災いに遭った時、自分に起こった災いばかりに目を留め、こんな災いに遭うのは不当だと主張し、自分は選ばれ民だと高慢に振る舞いつつ、それでも罪は依然として持ち続けながら生きてしまいがちだ。私達が懲らしめを受けるならば、それは幸いな事だ。なぜなら、神は私達を子として扱っておられ、それによって訓練された私達は、主の聖さにあずかり、平安な義の実を結ぶからである。(へブ 12:5-11)

もし私達が罪を犯しても何の罰も受けずに来るなら、高慢になり、兄弟姉妹を傷つけ、自分が迷惑をかけている事も分からないまま罪に罪を重ねる、という事になってしまう。だから、懲らしめのくびきを負わされるのは良い事で、それによって、へりくだる事、そして従順を学ぶのだ。

「軛を負わされたなら黙して、独り座っているがよい。塵に口をつけよ、望みが見いだせるかもしれない。打つ者に頬を向けよ十分に懲らしめを味わえ。主は、決してあなたをいつまでも捨て置かれはしない。」(哀歌 3:28-30)

主から懲らしめを受けた時、怒りたいかもしれない。不当だ、と叫びたいかもしれない。しかし、そのような時は、不平不満を言うより、むしろ口を塵につけて、黙って懲らしめを受けるほうが良い。「生きている人間は、なぜつぶやくのか。自分自身の罪のためにか。」(哀 3:39)

もしつぶやきが出るなら高慢になっており、自分の罪をまだ認めていない証拠である。人は元々、ちりである。高慢になっているのであれば、口をちりにつけ、ちりを味わい、ちりの成り立ち、すなわち人間の成り立ちを、そして、ちりである自分自身の成り立ちを、じっくり味わい、思い起こす時である。御言葉の前に、身も心も低くしているなら、主はいつまでも捨て置かれはしない。

哀歌5章は民の祈りとなっており、1-14節は自分の身に降りかかった災いを申し述べているが、15-17節で、それは自分達の側に非があったから、と認めている。「ああ、私たちにわざわざあれ。私たちが罪を犯したからです。私たちの心が病んでいるのはこのためです。私たちの目が暗くなったのもこのためです。」(哀 5:16,17)

もし、心が病んでいるなら、また、世界が暗くなっているなら、まず自分の口からつぶやきを除き、黙ってちりに口をつけ、自分の成り立ち、人の成り立ちをじっくり味わう所から始めるのである。「神へのいけにえは、砕かれたたましい。砕かれた、悔いた心。神よ。あなたは、それをさげすまれません。」(詩篇 51:17) ダビデは自分の罪を認め、神に憐れみを求めたからサウルのように滅ぼされなかつた。「私たちが滅びうせなかつたのは、主の恵みによる。主のあわれみは尽きないからだ。」(哀 3:22)

戦争によって滅んでしまった民族は幾多にもぼるが、イスラエルが何度も滅亡の危機から守られたのは、彼らは主に選ばれた民であり、その民への憐れみは尽きないからだ。それは、私達も同様である。捕囚から70年が満ちた時、主が憐れみを示して下さったように、私達にも、憐れみが示される時が必ず来る。

「さあ、主に立ち返ろう。主は私たちを引き裂いたが、また、いやし、私達を打ったが、また、包んでくださるからだ…私たちは、知ろう。主を知ることを切に追い求めよう。主は暁の光のように、確かに現われ、大雨のように、私たちのところに来、後の雨のように、地を潤される。」(ホセア 6:1-3)

によって宣言します！ アーメン！

お祈りしていただきたい事がありましたら、以下にお書きの上、教会へお持ち下さい。

第2巻46号

2011年11月13日

横浜天声キリスト教会

集会案内

日曜礼拝

1部礼拝(韓国語通訳あり) 10:30
食事/フェローシップ 12:00～
2部礼拝 14:00
聖書勉強会 15:00

日々の集会

月～金 早天祈祷会 5:00～
火・木 夜の祈祷会 21:00～
水曜集会
1部 13:00～
2部 19:30～
金曜徹夜祈祷会 21:00～

アクセス

1部礼拝 週報



横浜市営地下鉄・伊勢佐木長者町駅
6番出口より徒歩5分
JR・関内駅より徒歩10分
京急線・日ノ出町駅より徒歩10分

関内駅から伸びる大通公園沿い、
伊勢佐木警察署の向かい対角線上にあり、
1Fがファミリーマートになっております。



聖書メッセージを携帯で

聖書メッセージをメールで
毎日携帯にお届けします。
左記コードを読み込み、
空メールを送信するだけ！



J. James Tissot

Copyright by de Heintzel, 1904

THE SEVEN TRUMPETS OF JERICHO, Joshua vi, 13.

"And seven priests bearing seven trumpets of rams' horns before the ark of the Lord went on continually, and blew with the trumpets."

J. James Tissot

http://www.cts.edu/ImageLibrary/Numbers_Joshua.cfm

〒231-0058

パスター： 林和也

神奈川県横浜市中区弥生町2-17 ストックタワー大通公園 I -201

TEL/FAX: 045-326-6211

Homepage: <http://voh.plala.jp/>

email: ephes_03-tensei@yahoo.co.jp



モバイルサイト